コンセプト設定のポイント

・図書館の「売り」は何か（利用者に何を提供するのか）

・学校の中でどのように図書館を位置づけるのか

＝何を目指すのかを明確にする

・コンセプトを設定したら、学校内で諮り、意見調整を行うことが必要。それをもとにさらにコンセプトをよく練る。

・コンセプト・

○コンセプトに基づいて学校図書館空間をイメージする

・空間としてのイメージは？　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・イメージカラーは？

・利用のされ方は？　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・シンボル、キャラクターなどは？

○コンセプトに基づいて行うには？方法論、目標など○

・レイアウト　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・選書

・蔵書構成　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・配架

・教科との連携　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・図書委員会活動

・その他

５．　評価（貸出数、アンケート結果、利用状況など）をもとに、再度現状把握、ニーズの整理、そして次のコンセプトへ…。

４．　コンセプトをもとにした

　　図書館づくりをイメージする

３．コンセプトの設定

そもそもコンセプトとは…

１．概念。観念。

２．創造された作品や商品の全体につらぬかれた、骨格となる

発想や観点。

『大辞泉』より

利用者ニーズ

○利用者の要求、好みは？

・生徒

・教職員（教育活動含む）

○利用者に不足している要素、図書館からの支援が必要な部分は？

・生徒

・教職員（教育活動含む）

学校ニーズ

○学校の校風、学校組織の中で求められる図書館のあり方は？

○学校に不足していると感じる要素、学校組織に対して図書館から支援が出来ることは？

１・現状把握

・職員　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・学校プロフィールの整理（特色・カリキュラム・部活動

・図書館（設備面）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・生徒、教職員の性質

・蔵書構成　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・図書館利用状況の分析

・予算　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・学校教育、事業における図書館の位置づけ

２．ニーズの掘り起こし

そもそもニーズとは…

need(名)

1. 必要
2. 要求
3. 不足・欠乏

『ライトハウス英和辞典』より